

名古屋市瑞穂区高辻町 14-18

2015 年 1 月 27 日

各位

日本特殊陶業株式会社

液晶タッチパネル・煙センサによる注意喚起機能の採用により安全・安心な使用を実現
 日本特殊陶業 医療用酸素濃縮装置 「KM5 5touch」を新発売

日本特殊陶業株式会社(社長:尾堂真一、本社:名古屋市瑞穂区)は、業界で初めて液晶タッチパネル、煙センサによる注意喚起機能等を採用することにより、従来器と比べより安全・安心な医療用酸素濃縮装置の新製品、「KM5 5touch(販売名 O2 フレッシュ-5G)」を発売いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 製品の概要

販売名	O2 フレッシュ-5G (製品名: KM5 5touch、ケイ・エム・ファイブ ゴー・タッチ)
一般名称	酸素濃縮装置
販売開始日	2015 年 1 月 26 日
医療機器クラス	管理医療機器(特定保守管理医療機器)
認証番号	226AHBZX00030000
酸素濃度	85vol.%以上(全流量設定)
寸法	幅 300 mm× 奥行 390 mm× 高さ 545 mm
重量	20 Kg
目標販売台数	年間 3,000 台(国内)



製品外観

2. 製品化の背景

医療用酸素濃縮装置は、慢性閉塞性肺疾患(COPD)等の呼吸器疾患に罹患した患者様が、ご自宅等で酸素療法を行うために使用される医療機器です。この装置は、コンプレッサーで圧縮した空気をゼオライトと呼ばれるセラミックへ窒素を吸着させることにより、酸素濃度を高めるものです。医療用酸素濃縮装置の普及により、多くの呼吸器疾患の患者様が入院することなくご自宅で療養することが可能となりました。

しかし、酸素濃縮装置の普及の一方で、タバコ等の火気が装置に引火することによる火災事故も年々増加し、テレビで報道される等、社会問題にも発展しています。これをうけ、厚生労働省や

関連団体では、火気に関する注意喚起文書を装置へ貼付したり、販売業者・医療機関へ配布したりする等、対策を講じてきましたが、未だ大きな成果は得られていません。

深刻な問題となっている火災事故低減に向け、当社では、自動車関連で培ったセンサ技術を応用し、煙を検知して周りの方々に注意喚起を促す機能を搭載した本新製品を開発いたしました。本製品は、医療機器の販売にて長年の実績がある株式会社小池メディカルを通じて医療機関にレンタル販売をいたします。

当社は今後も、患者様、医療機関の皆様にさらなる安全、安心をご提供できるよう、医療機器製品の開発に取り組んでまいります。

3. 新製品の主な特長

従来製品に加え、3つの新機能を搭載しております。

①当社の自動車関連のセンサ技術を応用した「煙検知」機能

装置に内蔵された「煙検知センサ」がタバコ等の煙を検知すると、音声と液晶パネル上の画像の両方で、装置の周りの方々に注意を喚起します。当社の自動車関連のセンサ技術を応用した「煙検知センサ」です。

②「延焼防止装置 “ファイアセイフ” (輸入元:株小池メディカル)」

酸素濃縮装置と酸素吸入用チューブの接続部に、「延焼防止装置 “ファイアセイフ” (輸入元株小池メディカル)」を採用しました。チューブに火が引火した場合でも、ファイアセイフが火種を消火し、装置本体への引火を防ぎます。

③液晶パネルを採用し使いやすさと音声・イラストによるアラートを採用

従来製品では、警報発生時にはブザーで患者様にお知らせしており、わかりづらい場合もありました。しかし、液晶パネルを導入することで、どのようなトラブルを警報しているのかがイラスト&音声でわかりやすく表示され、対処方法も表示されることで、患者様に素早くご対応いただくことが可能となりました。

【ご参考】 酸素濃縮器について

医療用酸素濃縮装置は、高濃度酸素の吸入を必要とする患者様が使用する医療機器で、コンプレッサーで圧縮した空気をゼオライトと呼ばれるセラミックへ窒素を吸着させることにより、酸素濃度を高めるものです。呼吸機能の低下により血液中の酸素が不足した方が、ご自宅での療養のために使用されます。疾患としては、「慢性閉塞性肺疾患 (COPD)」「間質性肺炎」「肺がん」等が挙げられます。日本国内では、現在約 16.5 万人の方が酸素濃縮装置を使用し在宅酸素療法をおこなっており、患者数は年率で3%程度増加しています。COPDの潜在患者は、国内で600万人とも

言われています(*1)。

医療用酸素濃縮装置の普及により、従来は入院が必要であった呼吸器疾患等の患者様がご自宅等で療養することが可能となりました。これにより患者様は、「入院回避による経済的な負担の軽減」と、ご自宅等での生活が可能になったことにより、「生活の質(QOL: Quality of Life)」を向上させることが可能になりました。医療関係者様にとっては、COPD のような「慢性期疾患」の患者様がご自宅で療養されるようになれば、「急性期疾患」の患者様の治療にさらに注力できるようになります。

日本政府は、今後も増大する医療費の歯止め策として、在宅医療へのシフトを国家政策として打ち出しています。このような環境下、在宅酸素療法は医療関係者様から大きな注目を集めております。

(*1) 出展：「ガスレビュー社」公表のデータより引用

■日本特殊陶業株式会社について

当社は、1936年に創業し、名古屋市に本社を構える総合セラミックスメーカーです。内燃機関におけるスパークプラグ、排気酸素センサにおいては、世界トップシェアを有し、また、半導体部品におけるパッケージ、機械工具、医療用に用いられるバイオセラミックス、産業用セラミックスなど幅広いラインアップを提供しております。世界中に販売・製造拠点を有し、12,000名を超える従業員が世界の皆さまに新たな価値を提供できるよう取り組んでいます。現在は、持続可能な社会における環境エネルギー、次世代自動車、医療などの製品開発にも取り組んでおります。今後も、「ナンバーワンかつオンリーワンのものづくり」を目指し、変革と挑戦を続けてまいります。

詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/>

■株式会社小池メディカルについて

1974年に小池酸素工業株式会社の子会社として創業し、東京都江戸川区に本社を構える医療ガス、医療機器メーカーです。同社の主力製品は医療ガスの分野で、医療ガスの配管・設備工事も行いますが、睡眠時無呼吸症候群治療器(CPAP)、脈拍数と経皮的動脈血酸素飽和度(SpO2)を非侵襲でモニターする「パルスオキシメーター」等の医療機器も幅広く製造・販売しています。

■お問い合わせ先

広報室 北河

電話:052-872-5896